

消防救急から見える高齢者救急の問題点

令和7年3月8日
堺市消防局 救急部 渡部

目 次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

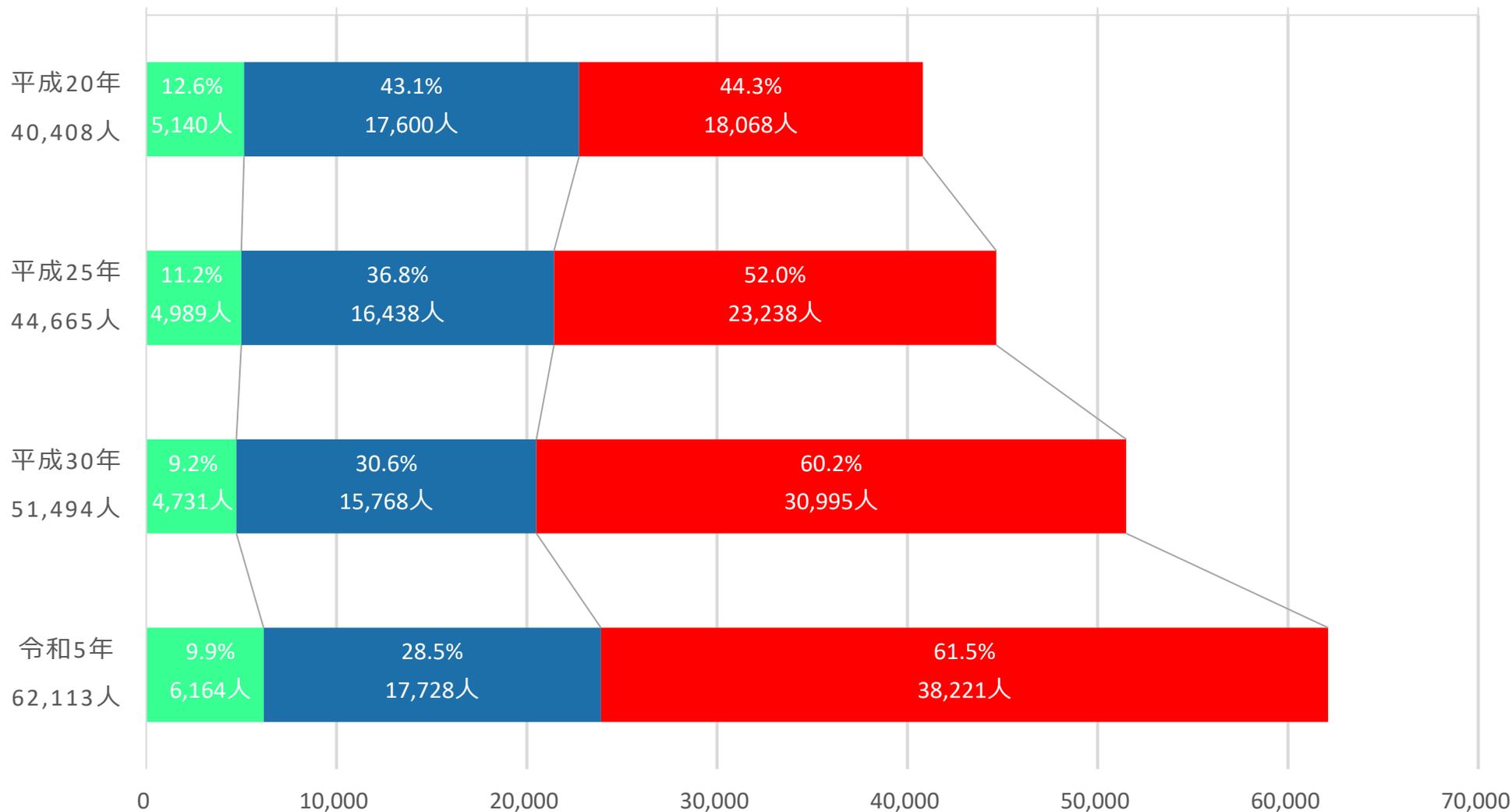
目次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

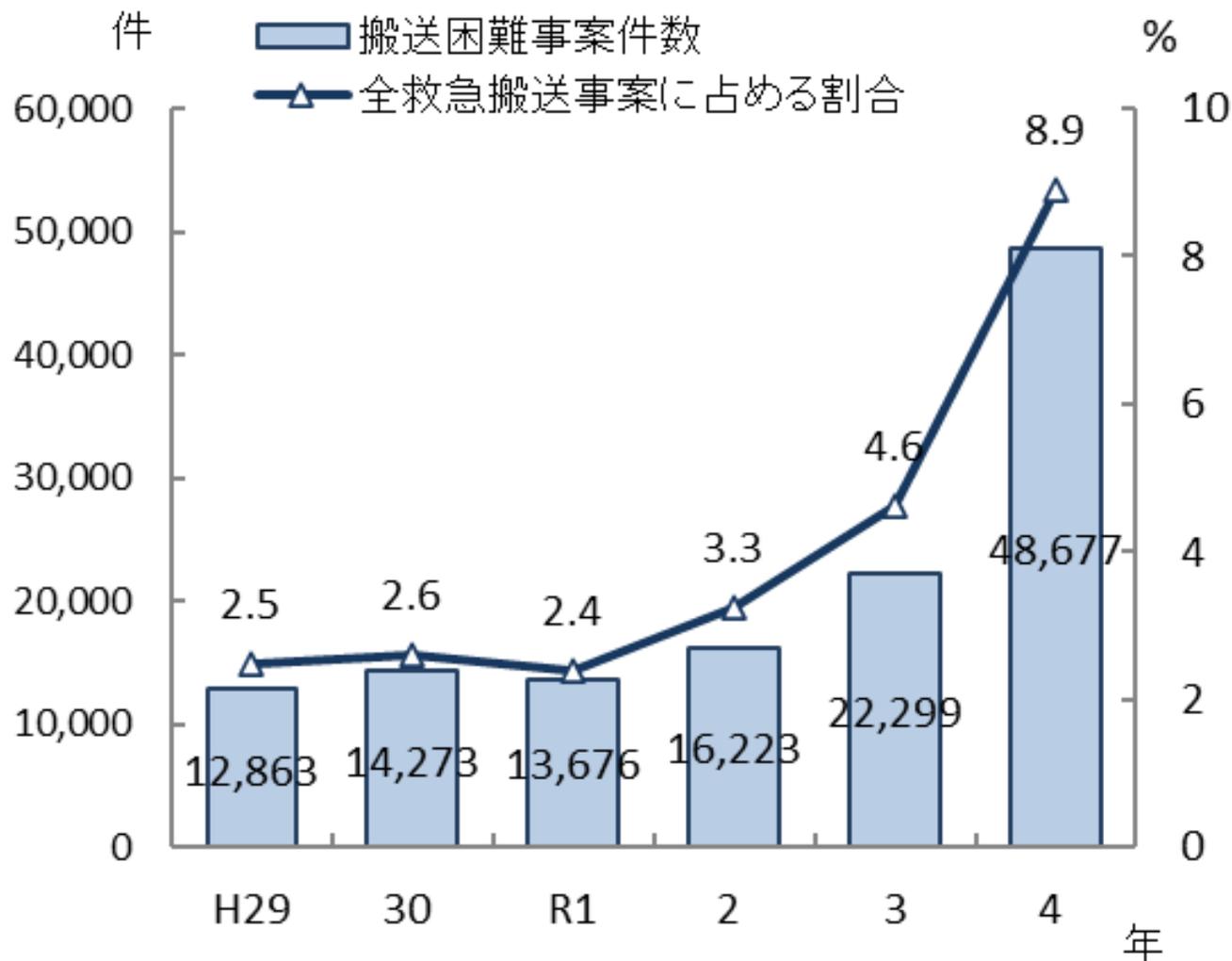
消防救急の現状

年齢区分別の搬送人員と5年ごと構成比の推移（堺市消防局）

■ 成人未満 ■ 成人 ■ 高齢者



大阪府の搬送困難事案



高齢者施設へ救急出場したとき・・・

- 誘導がなく、玄関が施錠されている
- 傷病者の情報がわかっていない
- 傷病者本人や家族等の意向確認が取られていない
- 付き添いなしで傷病者ひとりでの搬送になる
- 応急手当（心肺蘇生）が実施されていない
- 心肺蘇生しないでと言われる
- DNARっぽい書面が出てくる etc



将来の社会情勢を踏まえた対応策

救急活動時、心肺蘇生を望まない意思を伝えられた症例

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	総計
救急活動時、 心肺蘇生を望まない意思を伝えられた症例	2	44	33	9	27	115
搬送（CPR実施）	1	25	17	5	14	62
搬送（CPRなし）	0	0	1	0	2	3
不搬送	1	19	15	4	11	50

※令和7年2月5日時点速報値

DNARっぽい書面の例

急変時の治療についての同意書

号
 特別養護老人ホーム
 施設長

日頃は、当施設の活動に、暖かいご理解とご協力を頂き、有難うございます。

入所者様が万が一、入所中に急変した場合、救急搬送後の救命処置について

延命治療を 希望する
 希望しない

平成 24 年 7 月 20 日

入所者氏名 様
 ご家族氏名 様
 住所
 続柄

施設長確認印

心肺蘇生等に関する医師の指示書（例）

当該患者が心肺停止となった場合、患者（あるいは代諾者）の自発的な意思に基づいて行われた「心肺蘇生等を受けない」決定を尊重し、心肺蘇生等を実施しないでください。指示にあたっては標準的な医療水準等を考慮し、患者（代諾者）と多専門職の医療従事者間において十分な話し合いを行ったうえで、意思決定についての合意が形成されています。

患者氏名： _____ 生年月日： _____ 年 月 日
 連絡先電話番号： _____ - _____
 住所： _____ 県 _____ 市 _____ 町
 病状の概要：（終末期の状況など）

医師署名欄： _____ 平成 _____ 年 月 日
 医療機関の名称：
 所在地 _____ 県 _____ 市 _____ 町
 連絡先電話番号 _____ - _____
 もしくは _____ - _____ （時間外など）

<患者（代諾者）記入欄>

私は、何者にも強制されず、治療についての判断ができる状態で「心肺蘇生等を受けない」決定をしました。心肺蘇生等を受けなければ命が失われることを理解したうえで、上記の指示内容についてかかりつけ医等と十分に話し合い、ここに同意いたします。^{2,3}

患者署名欄⁴： _____ 平成 _____ 年 月 日
 （代筆した場合、代筆者の氏名： _____ 患者との関係： _____）
 代諾者署名欄⁵： _____ 患者との関係： _____

目次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

消防の任務

消防組織法 第一条

- ① 国民の生命、身体及び財産を火災から保護する
- ② 水火災又は地震等の災害を防除し、被害を軽減する
- ③ 災害等による傷病者の搬送を適切に行う

災害等による傷病者の搬送を適切に行う

= (消防機関が行う) 救急業務

救急業務の対象：消防法第二条第九項

- ① 災害により生じた事故
- ② 屋外もしくは公衆の出入りする場所において生じた事故
- ③ 屋内において生じた事故または生命に危険を及ぼす恐れがある疾病のうち、**傷病者を医療機関へ迅速に搬送するための適切な手段がない場合**

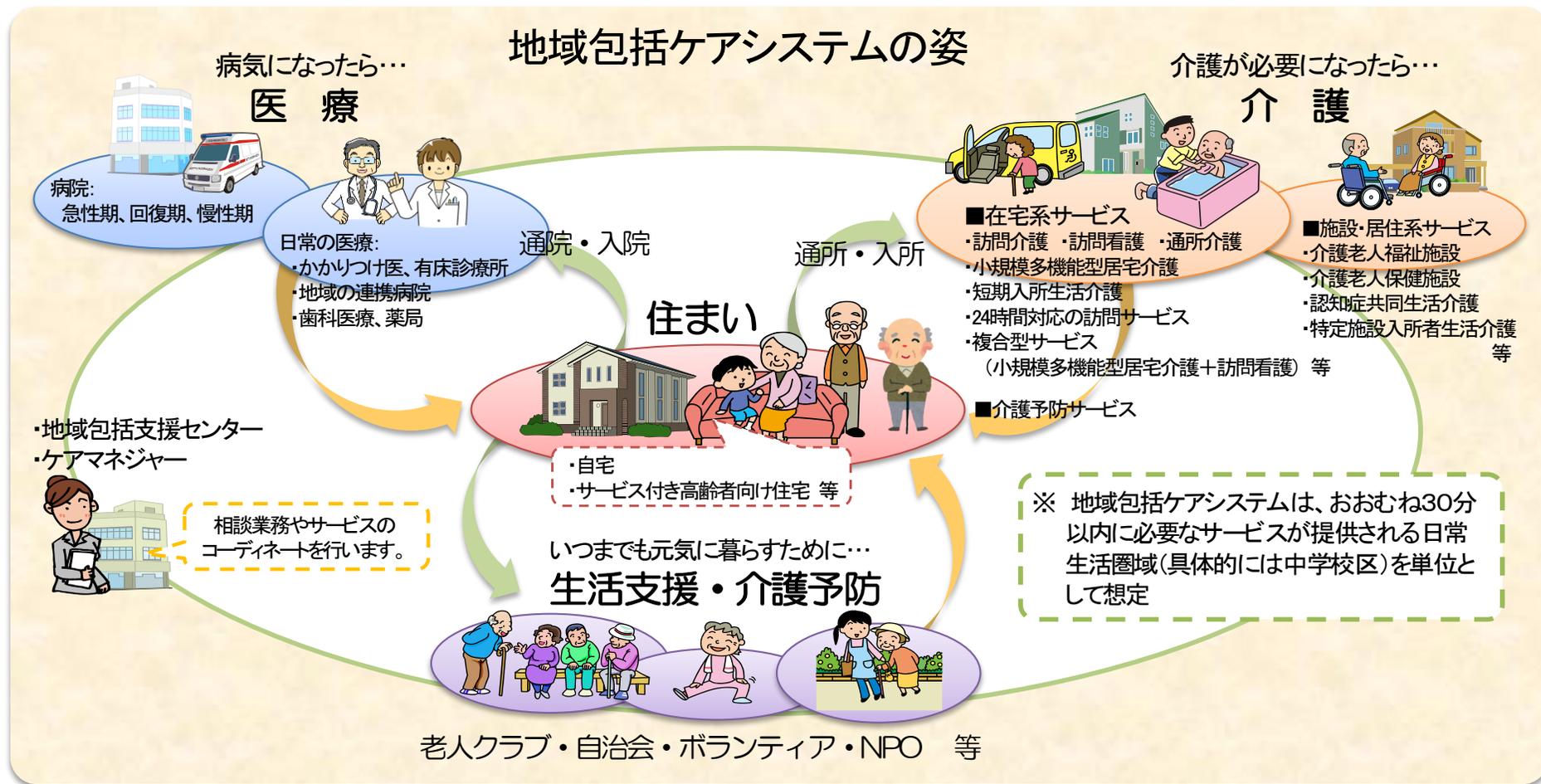
※ 傷病者が医師の管理下に置かれるまでの間において、緊急やむを得ないものとして、応急の手当てを行うことを含む。

目次

- 消防救急の現状
- 消防の救急業務
- 将来の社会情勢を踏まえた対応策

将来の社会情勢を踏まえた対応策

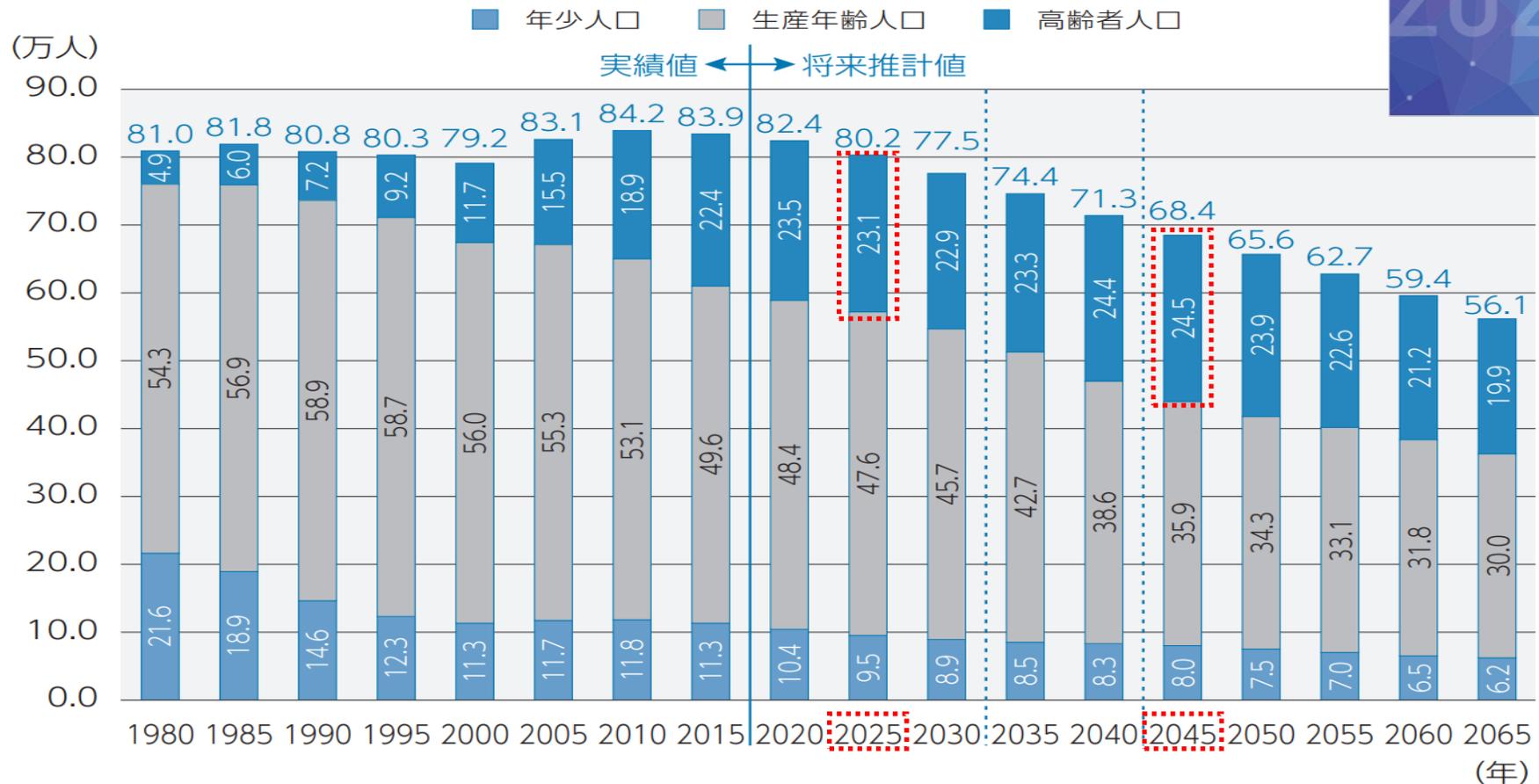
超高齢社会・人口減少社会における持続可能な医療体制の構築



将来の社会情勢を踏まえた対応策

年齢3区分別 人口の将来推計 (堺市基本計画2025)

総人口は減少するが、高齢者人口（65歳以上人口）は、2035年まで横ばいで推移
2045年には24.5万人に増加する（2045年がピーク）。



高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言 2024

令和6年12月20日

日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本老年医学会
日本緩和医療学会、日本病院前救急診療医学会、
日本在宅医療連合学会、日本プライマリ・ケア連合学会、
日本慢性期医療協会、日本在宅救急医学会、
日本救急看護学会、日本ケアマネジメント学会、
全国在宅療養支援医協会、日本在宅看護学会、
全国老人福祉施設協議会

Key words:

アドバンスド・ケア・プランニング(ACP)、看取り、市民、高齢者福祉施設
Advanced Care Planning, End-of-life care, citizens, elderly care facilities

責任著者/連絡先(Corresponding Author): 真弓俊彦, Toshihiko Mayumi

所属: 日本救急医学会, The Japanese Association for Acute Medicine

連絡先: mtoshi0521@gmail.com

高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言2024

- 高齢者の医療・ケアに日常的に関係する医療・福祉スタッフの方々へ

【提言1】

日常から、ご本人が希望する最後の過ごし方について、ご本人・ご家族等との話し合いを多職種で支援し、ご本人の希望を皆さんで共有しておきませんか。

【提言2】

高齢者の急変に備えましょう。

高齢者の急変に備えて

【救急車を要請する時】救急隊に伝えてほしい情報



○救急車を要請することになった経緯

- ・いつから？、どうなった？（突然？）
- ・普段とどう違うのか？
- ・**発症（受傷）の目撃の有無**は特に重要
目撃が無ければ、最後に正常（普段どおり）であることを確認した日・時間帯を伝えてください。

【救急車を要請する時】準備しておくもの

- 救急隊への情報提供表（または、これに代わる情報シート）
- 保険証（介護保険証）
- お薬手帳
- 現在服用中の薬

将来の社会情勢を踏まえた対応策

高齢者の急変に備えて

救急要請の手引き

介護老人保健施設・老人福祉施設等における

救急ガイドブック



堺市消防局

堺地域メディカルコントロール協議会

【別添1-2】

記入例 救急隊への情報提供表

【事前記載事項】：利用者ごとに事前に記載しておいてください。

フリガナ 氏名	さかい たろう 堺 太郎	年齢	〇〇歳	性別	男・女
TEL	施設に同じ	生年月日	M・T・S・H	〇年〇月〇日	
住所	施設に同じ				
病歴等	現在治療中の病気・ケガ 慢性心不全、高血圧、糖尿病	既往歴 肺炎、脳梗塞			
常用服用薬	ダイアード、AMロジノンOD、 グルコバイド	アレルギー (有・無)			
日常生活	会話 可能・一部可能 (不)	歩行		可能・一部可能 (不)	
かかりつけ病院名 (診療券番号も分ければ記載)	〇〇病院 000-000	担当医師名 〇〇医師			
ACPを取り扱った医療機関 (診療券番号も分ければ記載)	〇〇病院 000-000	担当医師名 〇〇医師			
ACPを取り扱った医療機関の連絡先		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇			
心臓停止時に心肺蘇生を望まない本人の意思がある		有・無			
緊急連絡先 (家族等)	氏名 堺 花子	TEL	000-000-0000		
	住所 〇〇市〇〇区〇〇	続柄	娘		

以上については、 年 月 日現在の情報です。

※ACP(アドバンスケアプランニング「人生会議」):人生の最終段階における医療
ケアについて、本人が家族等や医療ケアチームと繰り返し話し合う取り組み

【119番通報時の記載事項】：本日救急搬送を要請するに至った理由などを記載してください。

発症(受傷)を目撃しましたか?	はい (日 時 分頃) いいえ
普段どおりの状態を最後に確認したのはいつですか?	〇日 〇時 〇分頃
発症または発見時の状況、主な訴えや症状など	意識レベル：JCS I-3
巡回時に息苦しさを感じたため119番通報を しました。	呼吸 : 20回
	脈拍 : 100回
	血圧 : 120/90
	SpO ₂ : 90%
	体温 : 36.7℃
最後の食事 : 12時00分頃	

【お願い事項】

- 呼吸が無い場合は、一次救命処置を行ってください。
- すみやかな処置の実施のため、玄関の鍵錠・患者の居場所への誘導をお願いします。
- 救急搬送の際の付き添い(事情がよく分かる方)をお願いします。

記載していただいた事項は、救急業務以外には使用いたしません。

堺市消防局

「救急隊への情報提供表」は堺市消防局ホームページに掲載しています。

青色枠内は事前に記載
をお願いします。
利用者ごとに記入して
おいて下さい。

たくさん既往歴
や服用薬があり
記入が全てできな
い場合は、全てを
記入できなくても
構いません。

赤枠内は119番通報
時に記載をお願いします。
救急要請後、早期に
記入して下さい。応
急処置等が必要とさ
れる場合は手分け
て記入していただく
ようお願いいたします。

救命処置が必要
な場合には、黄色
の網掛け部分の
情報が重要となり
ますので、記入を
お願いします。

将来の社会情勢を踏まえた対応策

高齢者の急変に備えて

救急隊に伝えること

傷病者(具合が悪い人)の情報

氏名		性別	
生年月日			
現在治療中の病気・過去に完治した大きな病気やケガ			
かかりつけ(通院中)の病院・診療所			
上記以外で過去に入院・手術を受けた大きな病院			
おくすり手帳	有	・ 無の場合 → 普段飲んでいるお薬の情報が分かるもの(処方箋など)を準備	
アレルギー			
有() ・ 無			

「堺市消防局 救急要請時に伝えること」で検索

最後に食事をした時間	日	時	分頃
今日はどうされましたか？			
何時ごろに・何時ごろから・何をしている時に			
どうなった・どこがいつもとちがう			

緊急連絡先				
1	氏名		続柄	電話番号
2	氏名		続柄	電話番号
3	氏名		続柄	電話番号

※事前に書き込める部分は書き込んでおくことをおすすめします！

- ✓ 増加する高齢者救急搬送（2040年代まで）
- ✓ 緊急搬送手段（救急車）と搬送先（救急医療機関）には限りがある
- ✓ 介護、看護で関わっている高齢者のために、救急車や救急医療機関をあてにしない仕組み（体制）づくりを